

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2023年9月24日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌301「山辺に向かいて」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌461「主われを愛す」	一 同
教会学校	絵 本 「 庭 で の 約 束 」 ②	牧 師
讃 美	讃美歌493「罪の淵に陥りて」	一 同
聖書朗読	創世記2:8-17	
奨 励	創世記の福音(第4回)	牧 師
主 題	「あなたはどこにいるのか？」	
讃 美	讃美歌517「われに来よと」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌541「父、御子、御霊の」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	使徒行伝第七章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

9/24(日)聖日礼拝
/25(月)
/26(火)
/27(水)10-15: OBSカラオケ
/28(木)8:30 OBSチャペル, 10: 祈会, 13: ビレッジ集会
/29(金)
/30(土)13-16 子供オプンハウス

《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「病気になったら」

晴佐久昌英(カトリック高円寺教会司祭)

がんセンターに入院し、手術ということになりました。日が落ちると、病室に何か暗い霧でも忍び込んできたかのように気配が暗くなって「ああ、入院患者にとってこの長く孤独な夜、一番辛い時間帯だなあ」とつくづく思われました。することもなく天上を眺めて、不安に心を固くしている。自分がなんでここにいるのか、現実感が持てなかった。入ってどうして病気になるんだろう。どうしてこの私が病気になるんだろう。そんな思いで過ごした入院最初の日の夜、僕はベッドの上で突然泣き出しました。何が何だか分からずに、涙が次々に溢れてどうにもならなかった。それは悲しいとか苦しいとかとはちょっと違う、とても根元的な涙だったような気がします。泣くしかなかった。自分の存在の本質が、泣くしかない赤ん坊のように、完全に無力だ。そんな感じです。その泣き声を必ず聞いてくれる親に向かって泣くしかない。

手術は成功して、僕は退院しました。退院してすぐに、この体験を大切にしたいという思いで詩を書きました。真っ先に思いついた言葉を第一行目に置きました。「病気になったら、どんどん泣こう。」病気は本当に辛いです。誰が何と言おうとも。一見無意味に辛いものです。けれども私は今、確信しています。病気は無意味な苦しみなんかじゃ決してない。すべての病には崇高な意味がある。すべての痛みが僕たち人類をすごく深いところで支えている。もしも病気が無意味だったら、人生だって全部無意味なはず。人生が無意味なら、この宇宙万物、全部無意味じゃないですか。現代社会は、病気をあってはならない苦しみとしか理解していませんし、あらゆる痛みを不必要なものとして遠ざけることしか考えていません。たぶん現代人にとって、本当の意味で病気って存在していないような気がする。

…病気っていうものが、健康以上に豊かな実りを秘めた恵みの世界として確かにあるんだ。病気は堂々と存在しているぞ！そう言いたかった。病気は聞かない、光の体験なんだ。涙は敗北じゃない、勝利なんだ。どんなに辛い病気になったとしても、人は生まれてきて良かった。病の時は恵みの時なんだ。僕はそう言いたかったんだと思います。

